

河内長野市第6次総合計画基本構想（案）に対する
パブリックコメントにいただいたご意見と市の考え

みんなが、**主役**、みんなが、**ファン**。

支えて、**支えられて**、活かし合って。

の**つながり**も、大きな安心に。

ホタルも、**子どもたち**も、**光ってる**。

暮らしの中に、「**できる**。」がふえる。

“ここにしかない”時間を求めて。

サクセス

ふだんを生きる。じぶんが生きる。

新しい一歩、**踏み出し放題**。

知るほど暮らすほど「好き。」が深まる千年都市。

地域が**まるごと**、学校。

好きなときに、好きなところへ。

「好き。」が**集**まれば、すごい力に。

の消で、日本一の給食**カレー**を。

まちが**元気**、みんなも**元気**。

住（じゅう）を、**もっと自由に**。

揺るがない**安全と安心感**。

まちの顔を、**笑顔でいっぱい**に。

学びを、誰かの喜びに。

“**推し**”と出会えて、育てる **うれ**

市では、「**未来に“ワクワク”する**」をテーマに基本構想（案）の策定に取り組んできました。

総合計画のうち、**基本構想は、「10年後の市のありたい姿（＝市が目指すべき将来像）」を表現するパート**であり、基本構想で掲げた理想の姿を実現するために**必要な施策は、これから基本計画で表していく**ことになります。

さて、これまでは、「まちの未来はどうなるのだろう・・・」と心配する声も聞かれました。しかし、近年では、転出数と転入数の差がわずかとなるまでに回復していたり、若い世代の人口が増加に転じている地域も出ていたり、15歳未満の転入は何年も連続して転出を上回っていたり、**少しずつ、子育て世帯から選ばれるまち**になってきています。

河内長野が迎えている**ターニングポイント**を捉えて市民の皆さんと**いっしょにまちづくりを進める**ため、市民の皆さんに市を誇りに感じていただき、まちづくりを**自分事**と捉えていただくことを目指して、この基本構想（案）を策定しました。

そんな基本構想の案について、令和7年4月14日（月）～令和7年5月6日（祝火）まで、市ホームページや市内の主な公共施設において公表し、パブリックコメントの意見を募集したところ、**29名から56件**（非公表希望を含む）の貴重なご意見をいただくことができました。また、令和7年4月27日（日）にパブリックコメントの一環としてキックスで開催したシンポジウムでは、**約100名**の方にご来場いただき、そこでもたくさんのご意見をいただくことができました。ご意見をいただいた皆さま、**本当にありがとうございました。**

これらのご意見（公表可のみ）と、ご意見に対する市の考え方は下記のとおりです。

番号	ご意見（概要）	市の考え
1	子供が遊べる大型の公園（錦織公園や蜻蛉池公園のような公園）を早期に建設してほしいです。公園を中心に遊びに来る人が増えれば、河内長野をアピールする機会に繋がると思います。	ご指摘のとおり、公園整備は、交流人口の創出に大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、公園機能の充実・活用については、10 ページ「ホテルも、子どもたちも、光ってる。」の説明文中、「たくさんある公園でかけっこ」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
2	未来の河内長野市を「歴史と文化の街」にしてほしいと思っています。河内長野には歴史ある場所がたくさんあります。さらに、市立図書館があるキックスも全国的にも利用者がかなり多いと聞いています。今後、子育て世代が増えていくために必要なのは「文化的側面」だと考えます。 たとえば、敦賀市にある「ちえなみき」という文化施設は、本屋、カフェ、図書館、キッズスペースが併設されており、駅前に建っています。キックスに、市民がもっと気軽に利	ご指摘のとおり、歴史文化遺産の保存・活用や文化・芸術の振興は交流人口の創出に大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これらについては、15 ページ「”ここにしかない”時間を求めて。」の説明文中「文化・歴史を感じられるまち・・・神社仏閣」および「推し」と出会えて、育てるうれしさ。」の説明文中「地域に息づく歴史や文化財、お祭り」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。

	用できるブックカフェや、親と子どもが共に学べる場所の増設などを考えていただきたいです。 高齢化していく住民と新しく河内長野に移住する子育て世代が共にのびのびと暮らせる市を構想してください。	
3	図書館や河内長野体育館を時々利用しますが、職員の数が多いように思います。例えば、体育館のジムの受付に座っているだけの人は特にやることもなく座っているだけです。図書館でも受付に座っているだけの人を見かけます。電子化したりシステムを変えてスリム化し、人件費を抑制しても良いと思います。また、ふるさと歴史学習館などの施設を維持していく必要があるのか考えて欲しいです。財政の厳しい河内長野市を存続させるために必要だとは思いません。そんな予算があるなら、公園の整備や小中学校の設備に予算を使って欲しいです。ほとんど利用されていない施設を見直し、多くの人が他の市に比べて河内長野は	ご指摘のとおり、効果的・効率的に行政を運営していくことは大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、14 ページ「サクセスフルな、サステナブル。」の説明文中、「市役所の安定した運営も、・・・持続可能なまちづくりのモデルケースになっています」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。

	公園や学校の施設が充実していると思えるような予算配分をすることが、河内長野に住みたい、住み続けたいという気持ちにつながるのではないのでしょうか。 私自身は結婚後から河内長野に住み始めましたが、将来の町の破綻リスクを感じるので家の購入に踏み切れていません。10年、20年経って子どもが大きくなった時に、これからも河内長野にずっと住みたいと何の迷いもなく信じられるような市政運営を望みます。よろしくお願いします。	
4	高齢者が住みやすい街にするために、地形から不便を感じることなく住めるよう、もっと柔軟できめ細やかな公共交通網の早急な整備が必要だと考えます。また、大阪市のような公共交通の利用料金補助金設定も検討して欲しいです(年数回しか利用できないような補助券では役に立ちません)。さらに、映画やボーリングなど手軽に楽しめる娯	ご指摘の事項は、それぞれ大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、以下のとおり表現しています。 まず、公共交通の充実については、11ページ「好きなときに、好きなところへ。」の説明文中、「自分の行きたいところへ出かけることができます。新しい地域モビリティやバス・鉄道、ご近所さんとの乗り合いを組み合わせ、いろんな移動が実現」で表現し

	楽施設の設置も望めます。 また、外国人観光客や定住者の増加を目指すなら、市役所をはじめ公共施設には、英語を話せる人員の確保が必要不可欠だと考えます。	ています。 つぎに、魅力ある商業活動の推進については、14 ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱい。」の説明文中、「『まちの顔』になる場所がいくつもあって、たくさんの笑顔があふれる場所に。・・・楽しいスポットができたり」で表現しています。 また、観光振興のための仕組みづくりについては 15 ページ「ここにしかない”時間を求めて。」の説明文中「国内外から多くの人を惹きつける」で、市役所の窓口サービス充実については 14 ページ「サクセスフルな、サステナブル。」の説明文中、「市役所の安定した運営」で表現しています。 なお、いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
5	至る所で道路の路面標示は消えかけ、道路脇には伐採もされずに草が生い茂っています。この街は高齢化率が府内でも高く、人口減少も著しいため、将来はただ落ちぶれてい	10年後の市のありたい姿については 10 ページ「まちが元気、みんなも元気。」を筆頭に基本構想（案）全体で、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進については 11 ページ「暮らしの中

くだけだと思えます。市会議員も、本当にこのまちの行く末を考えているのか甚だ疑わしい人ばかりです。 この町の住民の暮らしを良くするためには、税収を上げることが必要だと思えます。具体的には、国の「高レベル放射性廃棄物の最終処分地」を市内に作ることを提案します。公務員からはこういった発想は出ないでしょうが、国に調査をしますと立候補すれば、それだけで確か 10 億円の予算がつくはずですよ。なぜ手を挙げないのでしょうか？住民が騒ぐから？今の仕事以上に手が回らないから？そんなことは、町の将来を本気で考えるなら大した問題ではないはずですよ。 5 年前に南部高速道路について市のホームページにも書き込みましたが、NHK NEWS WEB によると、河内長野市は「輸送面でも好ましい地域」に入っています。処分地を作るには輸送の安全性から考えても高速道路は絶対に	に、「できる。」がふえる。」「好きなときに、好きなところへ。」や 12 ページ「みんなが、主役。みんなが、ファン。」「支えて、支えられて、活かし合って。」や 13 ページ「あたらしい一歩、踏み出し放題。」「学びを、誰かの喜びに。」や 15 ページ「押し」と出会えて、育てるうれしさ。」で、定住促進については 13 ページ「住（じゅう）を、もっと自由に。」で、健全な財政運営については 14 ページ「サクセスフルな、サステナブル。」で、道路などの基盤整備については 11 ページ「揺るがない安全と安心感。」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
---	--

	必要です。単に「高速道路の空白地だから作って欲しい」 「観光に必要」などでは国は動きません。オスプレイの訓練場や基地を造る、和歌山県の吉備のような山の頂上に大規模な風力発電施設を設置するなど、何もないに等しいこの町なら、もっと腹をくくって今後の市の在り方を検討し、即行動して欲しいです。 税収を上げ、高速道路を作り、鉄道面では南海と近鉄の相互乗り入れを働きかけることも必要です。若い世代の定住を考えると、この街は便利が悪すぎます。もっと人やモノが動き回る活性化を図るためにどうすべきか、本気で検討すべきです。 何もしなければ、様々な行政サービスも削減され、人口も著しく減り、高齢者ばかりの活力のない町になり、この町は減んでいくだけだと思います。	
6	1. 子供たちが遊べる場所を、あいつく以外にも高向あた	1 点目にいては、10 ページ「まちが元気、みんなも元気。」の説

	りにつくってほしいです(屋内外どちらでも構いません)。 2. クリーニング店やパン屋さんが入ったショッピングモールや映画館が近くにあればありがたいです。	明文中「充実した子育て環境」や「ホテルも、子どもたちも、光ってる。」の説明文中「たくさんある公園でかけっこ」、14 ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱいに。」の説明文中『まちの顔”になる場所がいくつもあって、たくさんの笑顔があふれる場所に。・・・楽しいスポットができたり」で表現しています。 また、2 点目についても、14 ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱいに。」の説明文中『まちの顔”になる場所がいくつもあって、たくさんの笑顔があふれる場所に。・・・おいしいお店や楽しいスポットができたり」で表現しています。 なお、いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
7	ノバティながのでは空き店舗が目立ち、駅前商業施設としては非常に寂しい状況です。この現状を改善するために、近頃の大型ショッピングモールを参考にして、ふらっと立ち寄れる施設に生まれ変わることを望みます。具体的に	ご指摘のとおり、駅前の活性化は大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、魅力ある商業活動の推進については、14 ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱいに。」の説明文中『まちの顔”になる場所がいくつもあって、たくさんの笑顔があ

	は、空いているスペースに飲食可能なテーブルやソファを設置し、憩いの場を提供することが考えられます。こうした休憩スペースがあれば、自然と人が集まり、活気が戻るのではないのでしょうか。現在は休憩スペースがあまりにも少なく、せっかく空き店舗が多いのに活用されていないと感じています。	ふれる場所に。・・・おいしいお店や楽しいスポットができたり」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
8	子育て世代に選ばれる街であることは非常に重要だと思います。実際に、近隣自治体と比較しても手厚い支援があるという話を聞くこともあります。 この点を前提にしつつ、より幅広い層に魅力を感じてもらうためにも、各駅周辺の活性化は不可欠だと考えます。	ご指摘のとおり、各主要駅周辺の活性化は大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、魅力ある商業活動の推進については、14 ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱいに。」の説明文中、「『まちの顔』になる場所がいくつもあって、たくさんの笑顔があふれる場所に。・・・おいしいお店や楽しいスポットができたり」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
9	市内に住んでいても市外へ通勤・通学する人たちの多く	ご指摘のとおり、市民にまちづくりを自分事と捉えていただくこ

	は、河内長野市のことを自分ごととして捉えていないように思います。この人たちをいかに巻き込むかが、この計画で設定した目標を達成するポイントだと思います。	とは大変重要であると認識し、河内長野の魅力や可能性をお示し、「どんな風に暮らしたいか」「河内長野でこんなことをやってみたいな」とご自身で想像を広げていただけるよう、この基本構想（案）を策定しました。 今後も、市民のまちに対する愛着や誇りを高めていけるよう取り組んでまいります。
10	寺ヶ池公園の弁天山公園のような芝生エリアを拡大してほしいです。このエリアには屋根もあり、たくさん子どもたちが集まっています。こんなエリアが増えれば、グリーンはインスタ映えにもなりますし、自然豊かな街を知らせるきっかけにもなるのではないのでしょうか。 木材を多用したサウナ施設（今の 20 代には必須）や、爪楊枝の産地を PR する施設、フルーツ狩り、パフェ屋さんなど、テレワークが当たり前の今、20 代にもまだまだ需要がある街なはずです。もっと子どもたちが楽しめるエリ	ご指摘の事項は、それぞれ大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において公園機能の充実・活用については 10 ページ「ホタルも、子どもたちも、光ってる。」の説明文中「たくさんある公園でかけっこ」で、魅力ある商業活動の推進については 14 ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱいに。」の説明文中「まちの顔”になる場所がいくつもあって、たくさんの笑顔があふれる場所に。・・・おいしいお店や楽しいスポットができたり」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該

	アや、若者ウケを狙った施設をつくってほしいです。	当する施策の参考とさせていただきます。
11	転入転出に関して「15 歳未満の転入に限ると何年も連続して転出を上回り、少しずつ子育て世帯から選ばれるまちになってきています」と説明いただきましたが、その理由がわかりませんでした。地盤が固いとか犯罪発生率が低く安全・安心な市であるというのは、河内長野市が移住の候補になってから調べて知ったことのように思います。 大阪府でも圧倒的に「河内長野市」の知名度が低く、知らない方が多い中、転入されてきた方はどのようなきっかけで河内長野を知ったのでしょうか？この点を分析することが重要だと思います。「河内長野市」を大阪府民や他県の方にアピールするために SNS や YouTube での発信もなされていますが、バズることなく、河内長野市を知らない人に届いているとは考えられません。ぜひ、どのようなきっかけで河内長野を知り、移住候補になったかを調査・	ご指摘のアンケートについては、転入・転出の要因分析を行う目的から、定期的の実施しています。当該アンケートでは、転入元・転出先の市町村や河内長野を選んだ理由等についてヒアリングしており、施策立案や各種計画策定の参考としているものです。 なお、豊かな自然を魅力に感じ、転入される方が多いことが分かっており、安全・安心についても、転居を検討している方に魅力として届くよう、引き続き P R してまいります。

	分析していただきたいです。 営業部長募集が新聞等のメディアで取り上げられたように、新聞やメディアで取り上げられるようなアピールをぜひ行っていただきたいと思います。「河内長野市」を知ってもらい、どんなところだろうと興味を持っていただけるようなアクションをぜひお願いいたします。	
12	桜の木がクビアカツヤカミキリムシの幼虫にどんどん蝕まれています。数年前から気にしています。桜が綺麗だと思っていた場所の桜がどんどん伐採されていることもあり、残念でなりません。春になると桜が咲いているのを見ると、心が晴れる気がする人も多いと思います。道行く人も写真を撮っていて、桜という花が特別な感情を持たせてくれます。特に一年生のお母さんは、桜と一緒に写真を撮るのが定番ですが、小学校の桜もほぼ全滅です。 もっと早く手を打てばどうにかなったのかなと悔やむ部	ご指摘のとおり、魅力的な景観の形成は大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、10 ページ「まちが元気、みんなも元気。」の説明文中「美しく整備されたまち並み」や 14 ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱいに。」の説明文中「みんなの手で景観を美しくしたり」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。 なお、パブリックコメントの結果は、本資料により公開するものです。

	分はありますが、個人の力ではどうしようもありません。 河内長野の小学校や公園には桜が咲いていると思ってもらえるような地域にしてもらいたいです。 大きな木は今のところ伐採するしか手立てがない気もしますし、幼虫がいるであろう木は早めに伐採しないと、成虫の拡散の凄さは恐ろしいものがあります。子供がいる市民として、桜が咲くことが特別なものにならないように、どうにか桜を新しく植え替えて、その桜が太い幹になれるよう見守っていく方法があればと願うばかりです。今のままではきっと桜の木がなくなってしまうと思い、数年悩んでいました。意見を述べる場を見つけたので、どうかよろしくお願いします。 公開してもいいにしたのですが。どこに公開されるのでしょうか？	
13	河内長野市は認知度が低いですが、住みたい都会田舎	温かいメッセージと詳細なご提言をいただき、ありがとうございます

No.1 になるように願っています！ 1.高齢者も含めてアクティブに楽しめる施設が少ないです。映画館、ボーリング、カラオケ、バスケゴール、テニスやキャッチボール、ランニングコース、ミニアスレチック、推し活コミュニティなどをぜひともお願いします。 2.南花台の新広場が楽しみです。月1のマルシェやバルなど定期的に企画してほしいです。チャレンジショップの施設を設けて、これからお店を持ちたい人への手助けとなるようにし、河内長野に住めるような助成も行ってください。ここへ来れば、美味しい物、ステキな物、楽しい物があると他市からも集まる場所にしてください。 3.美術館や学びの場が少ないです。芸大や幼稚園、小中高美術部と常に連携し、もっと自然とアートを生かした施設を希望します。河内木材を使った美術館を建て、音楽、歴史、文学、ITなどの学びを発信してください。若い人が	ます。 本基本構想（案）で描いたまちの未来が実現できるよう尽力してまいります。 なお、いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
--	--

	この河内長野の環境から生まれる感性を伸ばせるようにしてください。 4.スーパーやドラッグストアが増えましたが、近隣市や他府県からもわざわざ来てもらえるような商業施設が少ないです。デパートや成城石井のような少し高級な進物、お土産にもなる物産館のような施設、セレクトショップ商店街などを誘致できるようにしてください。 5.古民家再生を含め、河内長野の町並み散策コース、寺院への観光など、民泊などを整備し、高野山へ行く前に寄ってもらえるような街にしてください。 6.花の文化園と連携した花の町をもっと盛んにしてください。最寄駅の河内長野には、花の町を感じさせるものがありません。本当に花の町なのか？花の文化園に行けるのか？ウェルカム感がありません。	
14	河内長野駅前の再開発について年寄りや子供にもやさし	ご指摘のとおり、駅前の活性化は大変重要であると認識してお

	い、人が集う駅前になってほしいです。河内長野のインフラである寺社仏閣を生かすなら、ホテルや宿泊所が必須だと思います。商店街の活性化を含め、大きなリニューアル計画が必要ではないでしょうか。	り、本基本構想（案）において、魅力ある商業活動の推進については、14 ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱいに。」の説明文中「『まちの顔』になる場所がいくつもあって、たくさんの笑顔があふれる場所に。・・・おいしいお店や楽しいスポットができたり」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
15	警察署前の歩道橋の老朽化が心配です。	ご指摘の河内長野警察署前に架かる歩道橋は、大阪府富田林土木事務所の管理ですが、本基本構想（案）において、道路基盤等の整備については、11 ページ「揺るがない安全と安心感。」の説明文中「道路・水道などの基盤づくりが進み」や 14 ページ「サクセスフルな、サステナブル。」の説明文中「道路・・・社会基盤・・・環境が整い、持続可能なまちづくりのモデルケースになっています」で表現しています。

		(ご参考) 大阪府富田林土木事務所 建設課道路整備グループ 0721-25-1131
16	計画書は、将来の町の姿を描き、現状の「強み」と「弱み」を客観的な数値も含めて把握し、進むべき道筋を具体的に組み立てることがスタートラインになります。 昨年 8 月 30 日、市議会定例会で西野市長は「消滅可能性自治体からの脱却が最大のミッション」と述べられました。 本年 4 月 1 日付の河内長野市の人口は、<ゼロ歳児・348 人><小学生・4,033 人><未就学児童・2,955 人>です。 ※未就学年代層の転入超過が今後 6 年間で 180 人と超楽観的に見込んでも、6 年後には小学生が 3,135 人と現状より 900 人減少します。	基本構想は、総合計画のうち、「10 年後の市のありたい姿（＝市が目指すべき将来像）」を表現するパートであり、基本構想で掲げた理想の姿を実現するために必要な施策は、今後、基本計画で表していくことになります。 これまでは、「まちの未来はどうなるのだろう・・・」と心配する声も聞かれましたが、冒頭で述べましたとおり、近年、少しずつまちに明るい兆しが現れています。 このターニングポイントを捉えて市民の皆さんといっしょにまちづくりを進めるため、市民の皆さんに市を誇りに感じていただき、まちづくりを自分事と捉えていただくことを目指して、この基本構想（案）を策定しました。

近隣の富田林市・大阪狭山市・和泉市と比較しても、当市は「一人負け」の状態、既に当市が「逆選択」を受けている状態にあると認識すべきです。 一方で、高齢化率が高い当市は、10 年後を見据えると、「自然減少人口」が多く、人口減少が加速します。 「若い世代に選ばれる町」になるためには、他の先進市が実践している成功事例に学び、市役所全体で＜人・物・金＞を重点的に投入する政策へと、大胆かつ具体的に切り替える必要があります。 今回の「総合計画基本構想（案）」は、具体的なデータの裏付けもなく、行政が何を行い、どのような結果を求めるのかが明確ではありません。「美辞麗句を並べただけの作文」としか評価できません。ビジネスの世界なら、到底「計画書」として通用せず、無視されるでしょう。 河内長野市の人口問題は「緊急事態」です。本来なら市民	いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
--	---

	に実情を正直に知らせて、「予算と人事配置を抜本的に変えます」と市民の理解と協力を求めるべきです。 この問題から逃げても、結果は「消滅可能性自治体」への道を進むだけです。やってくる町の風景は「イノシシが徘徊」「スズメバチが乱舞」する住宅街。そうならないためにも、河内長野市の再活性化に向けて正念場です。 市民目線では、断片的な事象しか見えていませんが、「あやたホールの風呂存廃」「各種団体への補助金」及び「人材配置」に無駄が見受けられます。 また、「まちづくり会」の運営にも、こども食堂など子育て支援活動に特化することを求めるなど、市役所がリーダーシップを発揮すべきと感じています。 いずれにしても、市民の理解と協力なしには実現が難しい事柄が多いと思います。 《結論》	
--	---	--

	河内長野市の人口動向の現実、「消滅可能性自治体への道」を進んでいます。近隣 3 市の中でも「一人負け」の現実を直視して、「子育て世代にとって魅力ある河内長野市」に生まれ変われるよう、「人・物・金」を総動員する政策の実践に期待します。	
17	先日、紀の川市桃山町へ行ってきました（車で約 1 時間）。たくさんの桃農園があり活気に満ち、おいしい桃を購入することができました（1 箱約 12 個、1,500 円～）。家庭用を求めて行列ができ、高級な贈答品などもありました。帰りはランチを楽しみ、桃のパフェやデザート、ソフトクリームを頂き、綺麗な山や川の景色を楽しめました。 河内長野市小山田町も桃の産地として有名です。くろまろの里やあやたホールなどを活用して、堺市や大阪市から桃を買いに来てもらい、寺院や滝畑ダムなどの景色を楽しんでもらいたいです。様々なお店に協力いただき、ランチや	ご指摘のとおり、地域資源の発掘・活用や観光魅力の発信は大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これらについては、15 ページ「ここにしかない”時間を求めて。」の説明文中「国内外から多くの人を惹きつける魅力になっています」や「「好き。」が集まれば、すごい力に。」の説明文で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。

	ディナー、桃パフェやソフトクリーム、桃ケーキなどを食べて帰ってもらい、河内長野の特産品をお土産に購入していただきたいです。 関西初出店の高倉町珈琲、風の湯、河内長野荘、てんとう虫パークなどを紹介する市内マップを作成し、SNS やチラシで拡散してはどうでしょうか。手が足りない桃農家へ、市内で仕事を探している方や学生さんなどにアルバイトやボランティアを募り、繁忙期の収穫や仕分け、売り子、運搬など様々なお手伝いをしてもらってはどうでしょうか。それにより、一層河内長野への愛着も深まるのではないのでしょうか。 河内長野市の活性化の一案になればと思い、記させていただきました。	
18	河内長野市第 6 次総合計画基本構想（案）では、「千年都市・・・」というフレーズが冒頭に使われていますが、「港	理念にも用いている「千年都市」については、これまでの各種アンケートやワークショップ等でいただいたご意見から、市の魅力

北ニュータウン 千年都市」や、出版本では「千年都市大阪まちづくり物語」や「旋舞の千年都市」などがあり、目新しさがありません。第 5 次総合計画で「奥河内」という造語が使われ、観光振興やブランドイメージ戦略に寄与してきましたが、第 6 次総合計画では「奥河内」は使われないのでしょうか？そうであれば、まったく新しいキャッチフレーズが必要ではないでしょうか。「千年都市・・・」では既に一般化していてキャッチフレーズになりません。パネルディスカッションをお聞きし、10 年後のまちの姿・イメージはとても素晴らしいものだと思います。ただ、早急にやらないといけないことは「河内長野市」を府民や県外の方々に広く知っていただき、知名度を上げていくことです。 例えば、子どもたちにクイズを作成して知ってもらう方法があります。楠木正成→河内長野市、烏帽子城跡→河内長	として抽出されたキーワードです。 ご指摘のとおり、都市ブランドの構築と魅力発信は大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、15 ページ「「好き。」が集まれば、すごい力に。」の説明文で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
--	--

	野市、観心寺→河内長野市、奥河内→河内長野市、滝畑→河内長野市、岩湧山→河内長野市、奥河内さくら公園→河内長野市、奥河内もみじ公園→河内長野市などです。 それによって河内長野市の名前を子どもから大人に知っていただき、移住の選択肢に上がるような工夫を同時に考えていただければと思います。	
19	1.上原町交差点の渋滞解消 両親が河内長野に暮らしており、そばで暮らすために引っ越してきました。自然あふれる環境で基本的に望む生活ができていますが、不便な点もあります。 上原町交差点は通勤時間帯や週末は常に混み合い不便です。今後、高向の再開発などが進むとさらに混雑が予想されます。バイパスから右折は二車線ありますが、直進と左折の車の量が多く、その車の渋滞に右折車も巻き込まれて	まず、上原町交差点の渋滞解消については、主に国・府の管轄するところではありますが、市としても適切な機会に働きかけてまいります。 また、ご指摘の事項は、それぞれ大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、以下のとおり表現しています。 住宅施策の充実については、13 ページ「住（じゅう）を、もっと自由に。」の説明文で表現し、循環型社会の構築については、14 ページ「サクセスフルな、サステナブル。」の説明文中「大切な資源が循環し続けるまちに・・・持続可能なまちづくりのモデル

いるのが実態です。交差点付近の車線を増やすなどして渋滞を解消してください。車利用の多くの河内長野市民が上原町交差点を不便に感じていると思います。 2.市民菜園の整備 河内長野は都市部に比較的通勤できる割に土地価格も手ごろで、中古物件も安いです。アクセスが良い市街地よりも多少不便ですが、自然とともに暮らすことを希望する層には魅力的な場所です。自然の中で暮らすことを希望する際、家庭菜園ニーズを持つ人達は多いです。放置されている農地をアクセスしやすい市民菜園に整備し、適切に貸し出しをしていただくと、上記ニーズを持つ世帯が移住したい街になると思います。 3.バイオマス発電など	ケースになっています」で表現しています。 なお、いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
---	--

	地震に強いとされる河内長野ですが、ライフラインを自前で構築できないでしょうか。山林の間伐材や一般家庭から出る生ごみ等を発酵させたメタンガスから発電するなど、自前の発電所をつくることで、地震時の停電に強い街にできませんか？	
20	内容については具体的データに裏付けされ、どれも素晴らしいものだと思います。しかし、少し気になることがあります。それは、この計画の主体が「都市生活者」の視点になっていて、「暮らし」も都市生活者の暮らしになっている点です。確かに市の人口の割合が都市生活者が多いのも事実ですが、千年続いてきた暮らしは「田舎暮らし」であり、余暇を楽しむ前に暮らしを支える活動（経済）があり、その中で育まれてきた「風土」があります。 農林業を主体とし、そこから生まれたつまようじなどの産業、後には金属加工関連産業などがあります。特に第 1	ご指摘のとおり、農林業の振興は大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、10 ページ「まちが元気、みんなも元気。」の説明文中「農業に林業」や 13 ページ「住（じゅう）を、もっと自由に。」の説明文中「集落の田畑に出かけたり」や 14 ページ「サクセスフルな、サステナブル。」の説明文中「農業や地場産業も」や 15 ページ「地産地消で、日本一の給食カレーを。」の説明文中「農業の担い手たちの力を掛け合わせて、地産地消が進み」で表現しています。

	次産業である農林業は自然（太陽、空気、水、土、多様な生物）を相手にします。自然は人間の思い通りにはなりません。日照りも大雨もあり、それによる土砂災害もあります。そのような時、人間は謙虚にならざるを得ません。言葉を換えれば、人間も自然の一部だと言えます。 農林業に携わることは一般的には楽ではありません。経済的にも身体的にも。問題はこの中にどのように「喜び」を見つけるかです。その結果の一つが「人のつながり」になったのでしょう。最近の体験で畑の草取りをしましたが、もし一人でやったら 1 日仕事ですが、7～8 人でやったので 1 時間ちょっとで終わり、終わってからのお茶の時間も楽しむことができました。 総合計画の策定にあたり、このような「風土」を支えた「農林業」とそれを支える「人」、そして「経済」にもう少しシフトしたものにしてほしいと思いました。実際、農業者	
--	---	--

	は 10 年後の未来はないと言っています。このような人にも希望を持てるものにしてほしいと思います。千年の歴史・風土を支えてきた人たちなのですから。	
21	「風土」を支えた「農林業」とそれを支える「人」そして「経済」にもう少しシフトした基本構想にするため、「#ふだんの暮らし」中に、農林業（里山）に支えら千年続いてきた「暮らし」を加えてほしい。	いただいたご意見については、8 ページ「ふだんの暮らし」中、「#ふだんの暮らし」から遷移する詳細説明資料において示します。 なお、詳細説明資料については、今後、整備してまいります。
22	農業者に希望を与えるような基本構想にするため、「まちの情報をみんなで伝え合ったり、忙しくて市役所に行く時間がなくても電子手続きで窓口サービスを利 用できたり、病院に通えなくても遠隔で診療を受けられたり。（※）新しいテクノロジーと、人と人の支え合いに よって、これまで諦めていたことや難しかったことが、どんどん「できる。」に変わっています。」の※部分に、「若い人たちが農業を支えてくれたり」の文言を加えてほしい。	ご指摘のとおり、農業の振興は大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、10 ページ「まちが元気、みんなも元気。」の説明文中「農業」や 13 ページ「住（じゅう）を、もっと自由に。」の説明文中「集落の田畑に出かけたり」や 14 ページ「サクセスフルな、サステナブル。」の説明文中「農業」や 15 ページ「地産地消で、日本一の給食カレーを。」の説明文中「農業の担い手たちの力を掛け合わせて、地産地消が進み」で表現しています。

23	人生経験が豊かになると、新しいことにチャレンジしなくなるのは、失敗が怖いことが多いので、「あたらしい一歩、踏み出し放題。」の説明文である、「何才になっても、(※)いつでも新しいことにチャレンジできて「このまちでよかった。」と思える場所。新しい一歩を踏み出すとき、「このまちがいい。」と思える場所。周りのみんなも、その一歩を応援してくれるから、やりたいことを次々と実現させることができます。」の※部分に「失敗を恐れず」と加えてほしい。	ご指摘を受けて、13 ページ「あたらしい一歩、踏み出し放題。」の説明文は、「何才になっても、いつでも新しいことにチャレンジできて」の部分を「年齢や経験を重ねても、失敗を恐れずいろんなことにチャレンジできて」と変更します。
24	林業の話が出てこないため、基本構想の「地域に息づく歴史や文化財、お祭り、よく行くお店や公園、河内長野を拠点にするスポーツチームやアーティスト、企業やボランティア団体、(※)、……、一人ひとりが自分の“推し”と出会えて、ただ遠くから見守るだけでなく近くで応援できるような、ワクワクするつながりがまちにあふれていま	ご指摘のとおり、林業の振興は大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、10 ページ「まちが元気、みんなも元気。」の説明文で「林業」で表現しています。

	す。」の※部分に、「美しく強い河内材」という文言を加えてほしい。	
25	単に楽しむだけではなく、そこに勤しみがないとまちづくりに活かすのは難しい。そして、勤しみそのものを「苦」でなく「楽」とするように工夫することも必要であるため、基本構想の「河内長野がみんなの「好き。」であふれたまちになって、みんなで見つけて持ち寄ったいくつもの魅力が「まちのブランド」になり、広く全国へと伝わっていく。みんなで愛着と誇りを持って、このまちでの暮らしを（※）楽しむことが、そのまま、まちづくりにも活かされていく。そんな未来が、始まろうとしています。」 の※の部分に、「楽しみながらいそしむ」を加えてほしい。	本基本構想（案）は、市民の皆さんが市の未来に“ワクワク”を感じるものにすることにより、まちづくりを自分事として捉えていただくことを目指して策定しました。 「「好き。」が集まれば、すごい力に。」では、押しつけではなく、自然と愛着の輪が広がっていく様子を表現しています。 今後は、さらにまちのブランドを高めていけるよう、現在、実施している河内長野市ブランディング事業と統一的に施策を推進する計画を策定してまいります。
26	14 歳以下の子供の人口が増えていることは素晴らしいことだと思います。市役所などの関係各位の皆様の努力の賜物と感心しています。この傾向を継続させる政策などがあ	温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。 市では、人口動態の分析から、自然減により増える空き家が流通することにより、子育て世帯等の若い世代が転入してきていると

	れば、教えてください。 さらに子育て世帯を増やすために、託児所や医療機関（分院など）を駅前・駅周辺に集約してはどうでしょうか。 また、駅周辺の利用可能な駐車場を増やし、電車本数の少なくなる和歌山方面の方々の大阪への通勤・アクセスの中継地点としてアピールし、河内長野市の関係人口を増やすための取り組みを行ってはいかがでしょうか。仕事帰りに河内長野で買い物などを行っていただくような仕組み・ルートが作れば、良いと思います。	考えています。今後も、住宅流通の促進や子育て支援を強化するとともに、プロモーションの徹底により、本市の魅力である「自然」「安全・安心」等を効果的に発信してまいります。また、ブランディング事業によるシビックプライドの醸成等も同時に推進してまいります。 また、ご指摘のとおり、駅前の活性化は大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、魅力ある商業活動の推進については、14 ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱい。」の説明文中『まちの顔』になる場所がいくつもあって、たくさんの笑顔があふれる場所に。・・・おいしいお店や楽しいスポットができたり」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
27	駅の周りをもっと盛り上げてほしいです。	ご指摘のとおり、駅前の活性化は大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、魅力ある商業活動の推進につい

		ては、14 ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱい。」の説明文中「『まちの顔』になる場所がいくつもあって、たくさんの笑顔があふれる場所に。・・・おいしいお店や楽しいスポットができたり」で表現しています。 それを実現するために必要な施策については、今後、策定する基本計画において、示してまいります。
28	子育て支援が充実しているというのであれば、子どもの医療費を筆頭に給食費・保育料の完全無償化を希望します。大阪府内だけでなく、他県も見てください。他県がいかに充実しているかが分かります。 子どもたちが通う通学路も、歩道がなく道路の隅がグリーンになっているだけの通学路を歩くしかない箇所が多く、危険が伴います。歩道を設置する、あるいは道路幅を広げるなどの対策が必要だと思います。それは子どもたちだけでなく、我々大人が歩く時にも安全性が向上します。	ご指摘のとおり、子育て支援の充実や道路基盤の整備等は、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これらについては、10 ページ「まちが元気、みんなも元気。」の説明文中「充実した子育て環境」や「ホテルも、子どもたちも、光ってる。」の説明文や 11 ページ「揺るがない安全と安心感。」の説明文中「道路」や 15 ページ「推し」と出会えて、育てるうれしさ。」の説明文中「公園」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。

	公園には駐車場がないところも多く、駐車場がある公園に行くと駐車料金がかかったり、止められる台数が数台程度です。やむなく公園で遊ぶのを諦めたことも度々あります。公園の大きさにもよりますが、近くに駐車場を設置するなど何らかの対応をしてもらいたいです。 上記の案件を 10 年後の目標にするのではなく、早期対応として検討していただきたいと思います。	
29	寺ヶ池公園の整備を進めて欲しいです。赤峰市民グラウンドがなくなった今、寺ヶ池公園はもっと市民の憩いの場になる必要があります。私は結婚と同時に転居しましたが、広い土地があるのに、大泉緑地（堺市）や蜻蛉池公園（岸和田市）のような広い公園がないことに物足りなさを感じていました。そこで、寺ヶ池公園がこうなったらいいのになと思う点を挙げます。 1.弁天山広場のまわりにある雑木林を伐採。	温かいメッセージと詳細なご提言をいただき、ありがとうございます。 寺ヶ池公園は、開設から 60 年が経っていることから、公園内全域において施設の老朽化が進み、リニューアルが必要となっています。また、近隣に位置する赤峰市民広場が令和 6 年 6 月末の産業用地化に伴い廃止され、特に子どもが遊ぶ遊具や運動場の確保が困難となっています。そのため、寺ヶ池公園では、これまで赤峰市民広場が担ってきた公園機能の代替え地としても期待され

2.弁天山広場または南側堤の付近に駐車場を整備。 3.南側堤付近の狭小道路拡張。 4.不要な生垣の伐採。 5.南側堤から菖蒲園までの遊歩道整備。 6.取水塔から北側堤までの遊歩道整備。 まず、1.に関して、令和 3 年 11 月に寺ヶ池・寺ヶ池水路が世界かんがい施設遺産として登録されたのだから、弁天山広場から雄大な池がまったく見えないのはもったいないです。手入れができていない木はすべて伐採してもいいと思っています。弁天山広場から上の寺ヶ池住宅へ続く登坂の雑木林も整備して欲しいです。弁天山広場トイレ付近のうっそうとした森のような場所も、木を伐採して日当たりが良いクリーンな広場にしてほしいです。 3.は、車 1 台しか通れない南側堤付近の狭小通路です。今にも崩れそうな小屋が邪魔して歩行者をはねる危険があ	ており、寺ヶ池公園に求められる役割はますます大きくなってきています。 このような状況を踏まえ、寺ヶ池公園が持っている自然や文化の魅力を上させつつ、子どもを中心に様々な人が楽しめる公園を目指すため、利用者や子ども・子育て世代のご意見を取り入れ、今後の時代を見据えた施設の更新、再整備など、効果的なりリニューアルを進めていくにあたり、寺ヶ池公園リニューアル計画を策定したところです。今後は、本計画に基づき、整備してまいりますので、ご期待いただければと思います。 （ご参考 市 H P）寺ヶ池公園リニューアル計画の策定について https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/21/108509.html なお、本基本構想（案）において、公園機能の充実・活用については、10 ページ「ホテルも、子どもたちも、光ってる。」の説明
---	--

るので、道路を拡張してほしいです。人と接触して「いつかはこうなると思っていた」では済まされません。 4.は特に西側の遊歩道ですが、生垣が生い茂りすぎて池が見えないことが不満です。大人ならまだしも、子どもの目線からは池が見えないのはもったいないです。背の高すぎる生垣は低く整えるか、いっそのこと無くしてしまうかです。 5.は南側堤から寺が池公園へ続く急坂です。小さな子供やお年寄りが歩くと危ないです。できるだけ高低差の少ない遊歩道を整備してほしいです。この区間は地図では白抜きになっており、河内長野市の土地ではないかもしれませんが、この土地を買い上げて公園の一部とすることで有効活用できます。例えばバーベキューガーデンや野鳥公園、芝生広場にするのはどうでしょうか。 6.は東側の遊歩道が池面から遠ざかってしまっている点	文中、「たくさんある公園でかけっこ」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際においても、該当する施策の参考とさせていただきます。
--	---

	です。取水塔までは池面までの遊歩道があるのに、そこから急激に階段を上り野球場へ向かい遠く離れてしまいます。北側の堤からも池面から遠ざかって坂を野球場の方向へ登らないといけません。池の周囲をぐるっと周遊できるような高低差の少ないウォーキングルートを整備して欲しいです。 このように寺ヶ池公園を魅力ある公園に整備すれば、若い世代を呼び込むことができ、企業誘致にともない人口も増加することが見込まれます。2.の駐車場は現状のままでは明らかに足りないでしょう。大阪狭山市がさやま池なら、河内長野市には寺ヶ池と自慢できる市民の憩いの場所としてアップグレードは必須です。駐車場も長時間迷惑駐車対策として有料にすればいいのではないのでしょうか。外貨を稼ぐことも重要です。最近ではカメラでナンバープレートを読み取る設備もあります。遊歩道を整備し、ウォーキ	
--	---	--

	ングやランニングに来る老若男女が多く訪れ、健康寿命を延ばすことにつながれば、河内長野市の魅力として内外にアピールできます。 また、河内長野市は標高の高い土地柄、眺望が良いところがあります。例えば桃の栽培をしている小山田丘陵から緑ヶ丘方面に目をやると、海側の臨海工業地帯が一望できるスポットがあります。しかし竹藪が多くて車を運転しているとすぐに隠れてしまいます。このような竹藪は消防本部付近などいたるところにも点在していますが、どうにかならないでしょうか。また関西スポーツサイクルセンターからの眺望、大阪の街を一望できる素晴らしい景色なのに車を駐車するところがありません。せっかくの眺望がインスタにも掲載できないのはもったいないです。展望台とは言わずとも、無料の駐車広場くらいあっていいと思います。山には山の魅力があります。河内長野市には海がない	
--	--	--

	のだから、その山の魅力をもっと武器に使えるはずです。 阪南市のようにグランピング施設を誘致してもいいのではないのでしょうか。また、昔は温泉が出ていたのに、もう枯れてしまったのでしょうか。金剛山や岩湧山、滝畑四十八滝を訪れた登山客が疲れた体を癒す温浴施設が風の湯以外にもあっていいと思います。 このように予算のことを考えずにいろいろ書きましたが、それは私が河内長野市を愛しているからです。河内長野市はもっと伸びしろがあります。そして一番に整備して欲しいのはやはり寺が池公園です。まずここを大切に整備すれば人口を増やすことができ、市民の健康寿命を延ばして健康増進につながる原動力になると考えています。せっかく自然や文化遺産も多いのに、それを活かさきれていないのはもったいないです。クラウドファンディングも活用して外貨を稼ぐことも必要ではないのでしょうか。住みやすい街	
--	--	--

	とわかれば、自然と選ばれる街へと成長していくと信じています。	
30	1.河内長野商店街の立て直し 駅前商店街は街の顔のようなものです。初めて訪れる人にとって、その街の全ての印象がそこで決まるといっても過言ではありません。そんな商店街がどんどん劣化しています。もちろん既に取り組まれており、新たな店舗が入ってきたり、空き地整備が行われているかと思いますが、肝心のアーケードの屋根がボロボロです。あれでは河内長野が寂れた街に思われかねません。まずは街の顔、街のエントランスを魅力あるものにするとところから、魅力ある街づくりはスタートすると思います。 2.わかりやすい遊歩道の整備 河内長野は車も多いです。しかし、田舎の良さでもあり欠	ご指摘の事項は、それぞれ大変重要であると認識しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。

	点でもある道の整備が行き届いていません。昔ながらの街並みを大切に、細い路地のある住宅街などは今後に残していただきたいですが、子供や高齢者にとっては歩きにくく、車道の横を怖々歩かなくてははいけませんし、車も子供や高齢者の飛び出しが怖く、徐行して走る道が多いです。全ての道に遊歩道を作るのは難しいですが、歩行者優先の道と車優先の道などを分けることは難しいでしょうか。例えば、車にお勧めしたい道は青、歩行者に優しい道にはピンク、自転車に優しい道には黄色など、道に色付けをするなど、町全体の道整備よりは使用道を分ける方が簡単かと思いました。自転車街道や散歩街道など。また、長野県の松本市にある中町蔵シックは昔は普通の車道でしたが、この通りだけ歩行者優先にし、車はこの通りは制限速度30kmで、休日は歩行者が多いため、平行した隣の通りを通ります。また、一方通行を多く導入している街もありま	
--	--	--

	す。(これは道が難しくなり、住民の反感を買いやすいですが)河内長野は民度が高いため問題が起きていないかと思いますが、子育て世代にとって子供たちを安全に通学させることができ、安全に遊ぶことができる場所があることが一番重要だと思います。 3.民度の高い街 河内長野 揺るがない安全と安心感、地域がまるごと学校、森林面積67%、リサイクル率の高い街、きれいな水、0歳～14歳の転入。これらの情報を聞き感じたのは、子育て世代が求める街づくりです。特に、リサイクル率が高い街ということは住民の皆さんがリサイクルや自然保護などへの関心が高いということではないでしょうか。そして、そういった関心が高い方は教育への意識も高いのではないのでしょうか。河内長野は教育立市の街として大阪府で唯一宣言を	
--	--	--

	された街と拝見しました。しかし、その認識がまだ広まっていないのではないのでしょうか。まずは教育への意識が高い方が検索する教育プログラムを導入してはいかがでしょうか。モンテッソーリやシュタイナー、インターなど、最近注目されている教育プログラムを導入している幼稚園を誘致するなど。シュタイナー教育は自然環境で学ぶことを大切にした教育方針です。河内長野の土地は自然豊かできれいな水、自然学習に適した場所です。また、その先に教育立市として積極的な英語教育、IT 教育、地域学習を導入している小学校への進学が約束されている。この一環した教育の街として売り出すことで、多くの子育て世代を取り込むことができるのではないかと考えます。 4.学生のチャレンジの街 地域がまるごと学校、新しい一歩踏み出し放題、空き家の	
--	--	--

	循環。空き家の活用法の一つとして、学生（学校）に物件を貸し出し、活用を任せるのはいかがでしょうか。例えば、授業の一環として空き物件の活用を考えさせ、実際にビジネスチャレンジを試してみる。1年目：ビジネスプランを考える。2年目：授業の時間中、グループごとに曜日やチームで使える時間を回していく。3年目：発表プレゼン会を行い、ビジネスコンテストを実施し、表彰する。町全体で教育の街として認知され、ここに住んでこの校区の学校へ進学したいと子供たちが思うことで、親が引っ越しを検討することになるのではないかと考えます。 5.南海電鉄と近鉄とコラボした、通勤・通学援助制度 河内長野の一番の魅力は自然豊かで且つ都心まで30分で行けることです。しかし、実際の居住区まではバスや車がないと行けない場所が多いかと思います。駅周辺はなかな	
--	---	--

	か空き物件がなく、折角都心まで 30 分なのに、その駅まで遠いというのがネックになるのではないのでしょうか。例えばノバティ長野の駐車場の定期券販売や、新幹線通勤割のようなりんかん定期券の販売などを行ってはいかがでしょうか。新転居者初年度のみのキャンペーンなど。市に転入届を出したら、その割引券がもらえるなど。いくら 30 分と言えど、慣れるまでは満員電車での通勤・通学は勇気のいる決断だと思います。私は河内長野から 12 年間通学で南海電車に乗り続けました。慣れたら大好きな河内長野と南海電車でしたが、最初は親も心配だったようです。 6.人のつながりも、大きな安心に支えて、支えられて、活かしあって 地域がまるごと学校。私の家族はまさに高齢社会で、老々	
--	---	--

	介護が始まっております。しかし、河内長野の皆様を支えられて、高齢の両祖母共に元気に生活しております。その一方で両親は年金受給者に差し掛かってはいますがまだまだ現役世代です。私は両親のようなまだまだ現役の前期高齢者の皆様にもっと活躍の場を持っていただきたいと感じております。例えば、地域のリタイア世代の皆様に向けて”日替わりせんせい”として登録してもらい、日替わりでいろんな地域の諸先輩方から小学校の子どもたちがいろいろなことを学ぶという地域学習を取り入れてはいかがでしょうか。母は以前民生委員を行っており、その際に小学校の行事などに参加したと申しておりました。しかし、民生委員の方だけでなく、たまになら子供たちのために何かしたいと感じている方はもっとおられるのではないかと思います。授業内容はなんでもあり、人それぞれ、経験で教えてもらえることがあると思います。編み物、買	
--	--	--

	い物の仕方、街の歴史などなど。高齢者の方が死ぬまで現役、子供たちが生きた経験を学ぶ。それがより社会循環に繋がるのではないかと思います。	
31	現在、大阪万博で利用されている大屋根リングを河内長野に移設する案です。河内長野市は景勝地が多いので、もみじや桜を楽しめる場所に設置してはどうでしょうか。大屋根リングの構造を利用して喫茶ブースを作り、市の活性化と集客力の向上を図ります。	ご指摘のとおり、地域資源の発掘と活用は、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、14ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱいに。」の説明文中『まちの顔”になる場所がいくつもあって・・・楽しいスポットができたり・・・観光客の人たちも、いろんな所でいろんな「好き。」との出会いが生まれています』で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
32	河内長野の活性化として、日本一のすべり台を作る 本市は山に囲まれた盆地なので何処でも作れます。一年を通じて利用出来る用に冬季オリンピックのボブスレーの様な乗り物とすべり台を作る。これにより集客力 UP	ご指摘のとおり、地域資源の発掘と活用は、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、14ページ「まちの顔を、笑顔でいっぱいに。」の説明文中『まちの顔”になる場所がいくつもあって・・・楽しいスポットができたり・・・観光客の人たちも、いろんな所でいろんな「好き。」との出会いが生まれています』で表現しています。

		り・・・観光客の人たちも、いろんな所でいろんな「好き。」との出会いが生まれています」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
33	【基本構想（案）まちの今 河内長野の魅力 p7 A.まちのみんなの説明文 1 行目「環境への意識も高い、河内長野のみんな」について】 この表現は、パブリックコメント参考資料 P34 のリサイクル率を根拠としているものと思われます。河内長野には地域や河川清掃をはじめ、自然環境を保全する活動を行っている多くの人たちがいます。その人たちは環境への意識が高いことは間違いありません。しかし、公園や道路など公共の場所に多量のごみやタバコの吸い殻がポイ捨てされている状況を見ると、「環境への意識も高い、河内長野のみんな。」とは言い難いです。	他市との比較において、本市のリサイクル率は大阪府内でトップレベルであり、市民の環境への意識の高さは、本市の強み・魅力のひとつであると考えています。 また、ご指摘のとおり、ごみの不法投棄の発生防止は、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、10 ページ「まちが元気、みんなも元気。」の説明文中「もっと美しくて」で表現しています。 今後、さらにまちの美化等を進めるために必要な施策については、基本計画において示してまいります。

	この文言が、まちの未来や河内長野の可能性について書かれるのであれば良いですが、現状認識ができていないと言わざるを得ません。市民のみならず他市の人も目にする基本構想の本市の今を表す説明文としてはふさわしくなく、変更するか削除すべきです。 〈根拠〉 1.第1回審議会全体会議の配布資料3-2 市民アンケート報告書 P4 河内長野の強み・魅力「ごみが少なく環境がよい」 9.1% (14 項目中 10 位)、資料 3-3 小学生・中学生アンケート報告書 P4 河内長野の好きなところ、良いと思うところ「ごみが少なく、まちが綺麗なところ」 7.8% (13 項目中 10 位)両アンケートの回答者は、環境が良い、まちが綺麗とは思っておらず、「河内長野のみんなは環境への意識も高い」と感じていない。 2.毎年 3 月に行われている河川一斉清掃の状況では、令和	
--	--	--

	5 年度は参加者 1,227 人でごみ回収量 12.7 トン、令和 6 年度は参加者 1,008 人でごみ回収量 13.4 トンと、参加者は 219 人減少しているのに、ごみ回収量は 0.7 トン増加しています。 3.令和 5 年 9 月定例会において、「現在、本市において、タバコやごみのポイ捨てはなくなる状態だが、約 10 年前に制定された『河内長野市きれいなまちづくり条例』は現在どのように周知・運営されているのか」という代表質問に対して、「本市では平成 24 年に、地域の環境美化を図り、きれいなまちづくりを推進することを目的として『河内長野市きれいなまちづくり条例』を制定しました。同条例においては、何人もポイ捨てをしてはならないと規定しており、本市としては、ポイ捨てをなくすためには一人一人のマナーとモラルの向上が重要であると考えています。このため、市広報誌やホームページに啓発記事を掲	
--	---	--

	載するなど、きれいなまちづくりに向けた普及啓発活動を実施しています。」と答弁されており、現在においてもポイ捨ての状況は改善されていません。 以上の理由から、「環境への意識も高い、河内長野のみんな」という表現は現実を反映していないと考え、見直しを求めます。	
34	【基本構想の施策体系の記述について】 令和 6 年 12 月開催の第 2 回部会「資料 2-2」では、「子ども・教育」から「協働・行政」までの 6 分野と分野別計画である 18 の施策が示されました。「資料 2-1（修正）」には「資料 1」の基本構想骨子（素案）P13「これからの河内長野、10 年後に実現したい姿」の「自然が元気、みんなも元気。」から P18「つながって、叶えていく。」（10 月時点）というキャッチコピーに該当する施策が示されました。	ご指摘の資料については、第 5 次総合計画における 38 施策をベースに 18 個に整理し、ディスカッションの参考資料として活用いただくために提示したものです。 基本構想（案）で掲げた 18 のコピーは、第 5 次総合計画における 38 施策を起点としてつくられたものではなく、「10 年後の市のありたい姿（＝市が目指すべき将来像）」を表現したものです。基本構想（案）で掲げた理想の姿を実現するために必要な施策は、今後、基本計画で示してまいります。

	しかし、2月開催の第3回部会で一部キャッチコピーの統廃合が行われた基本構想（案）が示されましたが、統廃合後のキャッチコピーに該当する施策についての資料はなく、審議会でも施策についての議論は一切行われていませんでした。今回のパブコメ用の基本構想（案）にも、行政運営を総合的に計画し将来像やまちづくりの理念を示すための当初の18施策がどのキャッチコピーに対応するのかが記載されておらず、なぜ12月に示された18施策がその後示されず、審議会での議論も行われていないのか疑問です。 基本構想には基本計画の元となる施策体系が書かれていないと、市民はもちろん、議会も「まちの未来、河内長野の可能性」にどういう施策を反映させようとしているのかが明らかにされていなければ、キャッチフレーズを見るだけでは判断できません。誰もが見て分かりやすい施策体系	
--	--	--

	図を記述すべきです。 (参考) シンポジウムで紹介された第 6 次川西市総合計画「心地よさ息づくまち 川西」では、基本構想の中に総合計画体系図として基本構想の 5 つの柱とその施策が書かれており、それに沿った基本計画が策定されています。	
35	【将来を担うこどもたちの望みを是非、基本構想（案）に書いてあげてください】 小学生・中学生アンケート報告書（令和 6 年 10 月審議会全体会配布資料 3-3 P4）によると、「河内長野市のさらに良くなって欲しいと思うところ」として、14 項目中ダントツの 47.7%もの子どもたちが「ごみが少なく、まちが綺麗なところ」を望んでいます。 審議会議事録や配布資料をすべて読みましたが、第 1 回正副部会長会議資料「第 6 次総合計画策定に向けた取り	ご指摘のとおり、不法投棄の発生防止は、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、10 ページ「まちが元気、みんなも元気。」の説明文中「もっと美しくて」で表現しています。 今後、さらにまちの美化等を進めるために必要な施策については、基本計画において示してまいります。

	組みの整理」の1(2)意見集約のまとめ【アンケート 一般・中学生】では、4項目があげられていますが、市民アンケート結果及び小学生・中学生アンケート結果を通じて一番割合の高い「ごみが少なく、まちが綺麗なところ」が欠落しています。 10月に開催された第2回目各部会で配布された「資料1」基本構想骨子(素案)P14には「水が美味しい。川が、まちが、美しい。」の解説文3行目に「街の美化」という文言がありましたが、そのキャッチフレーズが第3回目各部会配布「資料2」P4で「ホタルも、子どもたちも、光ってる。」に統合され、「街の美化」という表現がなくなりました。 審議会議事録を読む限り、小学生・中学生アンケートに答えた子どもたちが一番望んでいることについて議論された形跡が見受けられません。	
--	--	--

	基本構想（案）P10「まちが元気、みんなも元気。」の解説文には、1 行目に「美しく整備されたまち並み」、2 行目に「10 年後の河内長野は、もっと美しくて」と美しいという文言が2 回出てきますが、2 行目は何がもっと美しいのか伝わりにくいです。ここの記述を具体的に、子どもたちがさらに良くなってほしいと望む「ごみが少なく、まちがきれいで」もしくは「ポイ捨てもなく、まちがきれいで」と修正してあげてください。	
36	【市事務局並びに審議会の「基本構想」に対する認識について】 審議会議事録には、「行政は継続性が大事。前計画で残った課題を明らかにして取り組むのが通常。」との意見に対し、「今回は義務が無くなった中での新しい総合計画づくりを考えている。」「総合計画の策定が法定ではなくなり、立ち位置が自由になった。」との発言があります。	第6次総合計画は、市民にとってもわかりやすいデザインとメッセージが伝わりやすい構成にすることにより、市民が市の未来に“ワクワク”を感じられるものを目指しています。 そのため、基本構想（案）の策定においては、課題から入るのではなく、市の強み・魅力や明るい兆し等に焦点を当てて取り組んでまいりました。 一方、第5次総合計画における課題の分析等を含む総括について

平成 23 年の地方自治法改正により、基本構想の法的な策定義務はなくなりましたが、策定および議会の議決を経るかどうかは市の独自の判断に委ねられることになりました。 法改正を受け、市議会では平成 27 年 6 月定例会において発議案第 2 号が提出されました。提案理由は、「平成 23 年の地方自治法の一部改正により、総合計画の基本構想の議決の根拠がなくなり、基本構想を含む総合計画の位置づけが各市町村の判断に委ねられたことに伴うもの。総合計画は、行政と住民が共有すべきまちづくりの大方針であり、また、各種部門別計画の上位に位置づけられる市政運営の極めて重要性の高いものであることから、その基本部分である基本構想について議決の根拠を条例で規定するため、市議会自ら本条例を制定するもの」として全会一致で可決され、平成 27 年 6 月 8 日に「地方自治法第 96 条	も実施しており、基本計画の策定においては、それらを反映させてまいります。
--	---

	第 2 項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例」が制定されました。 上記の発言は、議会が重視していることを認識しているか甚だ疑問です。第 1 回審議会（全体会）での発言が、審議会委員に基本計画は自由にできるとの印象を与えたことは、市事務局のミスリードではないでしょうか。結果として、審議会では課題をどうするかの議論は一切されず、主に魅力的でポジティブな事象探しやキャッチコピー、解説文の修正が行われました。基本構想のスタイルは前計画のような形式か、シンポジウムで紹介された他市事例のような形式とするかは市の判断で良いですが、議事録には「大ほらを吹いて、そのほらが一つでも成功すればすごいと言う感じになる。」との発言がありますが、行政運営を総合的に計画し将来像や、まちづくりの理念を示す総合計画はそのようなもので良いはずがありません。	
--	--	--

	わくわくしながら未来への思いを膨らませるのは良いことですが、現実として令和 5 年度の経常収支比率は 95.3%（令和 2 年度より 2.8 ポイント悪化）です。市長が「市民が、市が抱える課題とその克服方法、市の方向性がわかるような計画を」と挨拶されましたが、今後、上下水道管や道路等の整備、福祉需要増大への課題や克服方法、市の方向性が示されない計画では、わくわく感を抱いた若者たちの期待には応えられず、絵に描いた餅になってしまうのではないのでしょうか。	
37	【パブリックコメントの実施目的について】 河内長野市パブリックコメント手続き実施要領第 1 条には、この要綱は、パブリックコメント手続きに関する基本的事項を定め、市民の意見を積極的に市政に反映させることにより、市の行政運営における透明性の向上と公正の確保を図るとともに、市民の市制への積極的な参画を促進	現状においては、河内長野市パブリックコメント手続実施要綱第 8 条第 3 項の規定に基づき、実施機関は、提出された意見等に対して提案者への個別の回答は行わないものとしていますが、いただいたご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。 また、審議会会長の発言については、課題から入るのではなく、

し、もって市民との協働によるまちづくりを推進することを目的とする。と書かれている。 これまで行われた数件のパブリックコメント意見及び市の考え方一覧を見ると。分類の 包含：ご意見の趣旨等は河内長野市〇〇計画に含まれています。 参考：ご意見の趣旨等は河内長野市〇〇計画に含まれていますが、ご提案内容は今後の取り組みの参考とすべきと考えます。 という件数の多さが目立つ。 (提案) 今後の取り組みの参考とすべきとしたものについて、意見の内容を取り組んだ際にはパブリックコメントで意見を述べた人に対して担当課から結果を知らせるようにしてはどうか。	市の強み・魅力や明るい兆し等に焦点を当てて取り組むという全体の方針について大きく変更されないであろうという趣旨の発言です。なお、議事要旨に記載はありませんが、万が一、大きな変更が発生した場合は、再度、全委員に招集をかける旨の発言もあったことを申し添えます。
--	---

	こうすることにより、今後も市政運営に対する積極的な意見を述べてもらえると思う。 (審議会議事録での会長発言の疑問) 令和7年3月17日開催の第2回河内長野市総合計画審議会の 〈質疑〉「今日いただいた意見をふまえ最終案を策定し、パブコメにかけ、修正する。本来であれば再度審議会を開くのが筋であるが、大きく内容も変わらないこともあり、今日の意見を踏まえて修正し、更にパブコメ実施後の調整案については会長に一任頂けないか。」 (異議なし) 下線部分「大きく内容も変わらないこともあり」「パブコメ実施後の調整案については会長に一任頂けないか。」は、既に大筋は決まっておりますパブコメで意見が出ても〇〇に含まれている。或いは「てにをは」くらいしか変えないと	
--	---	--

	いうことなのか。 大きく内容を変えなければならないような意見が出た場合、再度審議会が開かれて当然であると考えてるが、発言の真意が計りかねる。 もし既に決まっている大筋を変えない前提での発言であれば、パブコメを行う意味がなくまじめに意見を出そうとする市民を愚弄していないか。市としては手続きとしては順を追って行ったとの思いでいると捉えられても仕方がない発言である。	
38	町全体をデザインするうえで、ワクワク感や近未来イメージの共有のため、ポンチ絵は効果的である。同規模の中堅都市の成功事例調査や、住民の意向調査、住民だけでなく周辺企業へのニーズ調査があればよい。最終段階として行政の指導によるトップダウン的決断が要求される可能性もある。	ご指摘のとおり、ポンチ絵等は、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）については、今後、まちの魅力を表すイラストを挿入するとともに、ダイジェスト版として、ポスター等を作成することも計画していますので、ご期待いただければと思います。

39	働き方改革をすすめるにあたり、隙間時間のワークができるようにしたり、働く意欲・働く能力がある人に快適に働ける環境を提供する必要がある。 まず、勤務時間の柔軟な選択を可能にすることが重要ではないか。既存のシステムそのままでなく、現状に即応した改良が必要であり、需要と供給のマッチングが重要となる。	ご指摘のとおり、意欲的に挑戦する事業者の拡大の支援等は、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、13 ページ「あたらしい一歩、踏み出し放題。」の説明文で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
40	移動手段 移動手段の多様化（今まで進んできている）、循環バス、モックルバス、乗り合いバス、ライドシェア、タクシー、・・・（白タクの認可）	ご指摘のとおり、公共交通の充実は、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、11 ページ「好きなときに、好きなところへ。」の説明文で表現しています。
41	河内長野市の産業、文化、歴史、自然を紹介する観光ガイドの資格認定試験である河内長野検定を創設してはどうか。既にあるボランティアガイドや大阪市の真似ではなく、独自の形を工夫することが要求される。	ご指摘のとおり、観光振興のための仕組みづくりは、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、15 ページ「ここにしかない”時間を求めて。」「推し」と出会えて、育てるうれしさ。」「「すき。」が集まれば、すごい力に。」で

		表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
42	情報インフラ整備について、全域に行きわたっているかどうかの確認が必要である。電子掲示板は災害対策防犯・防災、町の案内板などの広報活動に利用できるのではないか。	ご指摘のとおり、効果的・効率的な行政運営の推進は、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、これについては、11 ページ「暮らしの中に、「できる。」がふえる。」の説明文中「まちの情報をみんなで伝え合ったり」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
43	空き家の活用方法としては、拠点づくりや居場所づくり、作業場所、交流場所としての利用が考えられる。うまく活用すればコスパが良いと思う。統計解析を用いて発見的手法で取り組んでほしい。	ご指摘のとおり、空き家・空き地等の有効活用の促進は、大変重要であると認識しており、本基本構想（案）においては、13 ページ「住（じゅう）を、もっと自由に。」の説明文中「空き家をリノベーションして仕事の拠点にしたり」で表現しています。 いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。

44	ワンストップお困りごと相談室を作り、窓口の一本化とデータベースを作成し、その情報を蓄積していくのはどうか。 自立生活支援の観点では、介護が必要な人、少しの支援で自立した生活が遅れる人、支援が不要な人がいるが、少しの支援で自立した生活が送れる人の人数が現在最も多くなっている。こどもが自立した後の高齢者は少しのことで困ることがあるため、今後制度として、元気なうちに人助けをし、高齢になったら助けてもらえるような仕組みがあれば助かる。また、手伝いをして感謝されると元気がもらえることがある。 最近気づいたが、河内長野市には多くの相談窓口があり、助けをうまく求めれば対応してくれる。もっと多くの方に活用してもらいたいと思う。どの窓口に相談すればよいのか迷うことがある。今後高齢化が進むにつれて総合相談窓	ご指摘の事項は、それぞれ大変重要であると認識しており、本基本構想（案）において、以下のとおり表現しています。 まず、効果的・効率的な行政運営については、11 ページ「暮らしの中に、「できる。」がふえる。」の説明文中「これまで諦めていたことや難しかったことが、どんどん「できる。」に変わってきます」で表現しています。 また、高齢者福祉の充実については、12 ページ「支えて、支えられて、活かし合って。」の説明文で表現しています。 なお、いただいたご意見については、今後、基本計画を策定する際、該当する施策の参考とさせていただきます。
----	---	---

口のニーズは高まると思う。	
---------------	--

《番外編》

令和7年4月27日（日）、パブリックコメントの一環として、シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、オンラインの意見投稿サービスを活用し、ご来場いただいた方が投稿した意見や質問をリアルタイムで確認しながら、ディスカッションを進めました。当日は、約100名の方にご来場いただき、たくさんの投稿がありましたので、少しだけご紹介します。



番号	主なご意見
1	このシンポジウムのように、世代関係無く、市内外在住無く誰でもアイデアを受け入れてもらえる環境は重要だと思います。
2	市民じゃない人が思う魅力を分析するのも大切なことです。いいところを共有できる仕組みがあるといいなと思います。
3	子どもたちが毎日食べる給食が美味しいと、子どもが学校に行く一つの動機となります。自慢が出来る給食があるまちになればいいなと思います。

4	若い世代の意見がまちづくりに反映される市役所になってほしいです。若い人が希望を持てるまちじゃないといけないのではないのでしょうか！
5	資料やキャッチコピーはとても良いです。あとは、どこまでみんなが自主的にまちを元気にできるかだと思います。ご縁があって同じまちに住んでいるので仲良く助け合いながら暮らしていきたいです。仲良くできそうでできないこの世の中に染まらないように前向きなコミュニケーションを広げたいです。
6	興味のない層に伝えるのが1番難しい。そのためにもファンを増やしていくのがいいと思う。
7	地域のことを自分ごとで考えたら、気持ちの入り方が違います。みんなが主役にもなって誰かを応援出来るようになると元気になるですね。
8	「まちが元気、みんなが元気。」！！良いですね～。高齢者が多い地域、笑顔が溢れるまちになってほしいと思います。
9	河内長野市に帰ってきたときの安心感がなんとも言えない。
10	中道先生のマインド、前向きなのがステキです。高齢者というくくりではなく、誰もが活躍できる可能性のある社会になればいいなと思います。
11	行政だけの発信では限られてしまいます。それがまさにこのシンポジウム。だからここから参加者が広がっていくこと。それこそが変化の第一歩ではないでしょうか
12	人があたたかい、空気が良いなど、市民だとあたりまえとってしまうのではないかと思います。実はそこがとっても素晴

	らしいということに気付くともっと魅力になるのかなと。
13	「いいところ探し」の考え方、素敵です!
⋮	⋮

以上